

Quality Indicator : QI

- 医療の質を表す指標 (Quality Indicator : QI) を測定・公表し、改善を行うことで、医療の質の向上を目指します。

2016年度

入院患者の 転倒・転落発生率(a): 5.45%

・分子

a. 医療安全推進室へインシデント・アクシデントレポートが提出された入院中の転倒・転落件数

－包含

－ 介助時の転倒・転落、複数回の転倒・転落

－除外

－ 訪問者、学生、スタッフなど入院患者以外の転倒・転落

・分母

－ 入院延べ患者数(人日)

・単位

－ ‰パーミル(×1000)

レベル1: 患者に損傷は無かった

レベル2: 包帯・氷・創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要、
あざ、擦過傷招いた

レベル3: 縫合・副子が必要

レベル4: 手術・骨折

レベル5: 死亡

【考察】

2015年度QIプロジェクト結果より

転倒転落発生率

平均値2.64‰(前年比-0.17)

中央値2.42‰(前年比+0.06)

最大値16.03‰(前年比-85.77)

最小値0.00‰(前年比±0)

平均値・中央値より高い結果となりました。入院患者さんに高齢者が多い(平均値76.3歳、中央値80歳、最大値104歳、最小値2歳)ことが原因の一つかもしれません。

発生件数を追跡するとともに、事例分析から導かれた予防策を実施して転倒・転発生リスクを低減していく取り組みを継続します。

入院患者の 転倒・転落による 損傷発生率： (b) 0.38‰ (c) 0.06‰

・分子：

- b. 医療安全推進室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル2以上の転倒・転落件数
- c. 医療安全推進室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル4以上の転倒・転落件数
 - － 包含
 - － 介助時の転倒・転落、複数回の転倒・転落
 - － 除外
 - － 訪問者、学生、スタッフなど入院患者以外の転倒・転落

・分母

- － 入院延べ患者数(人日)

・単位

- － ‰パーミル(×1000)

【考察】

2015年度QIプロジェクト結果より

損傷発生率(レベル2)

平均値0.72‰(前年比-0.11)

中央値0.51‰(前年比+0.01)

最大値9.70‰(前年比-92.1)

最小値0.00‰(前年比±0)

損傷発生率(レベル4)

平均値0.05‰(前年比±0)

中央値0.00‰(前年比±0)

最大値1.08‰(前年比-0.27)

最小値0.00‰(前年比±0)

レベル2は、平均値・中央値より低いですが、レベル4は平均値・中央値より高い結果となりました。これらの事例分析から導かれた予防策を実施して転倒・転落による傷害予防に努めます。

褥瘡発生率:0.08%

・分子

- 一 調査期間における分母対象患者のうち、d2以上の褥瘡の院内新規発生患者数

・包含:

- 一 院内で新規発生の褥瘡(入院時刻より24時間経過後の褥瘡の発見または記録)
- 一 深さd2以上の褥瘡、深さ判定不能な褥瘡(DU)、深部組織損傷疑い

・分母

- 一 入院延べ患者数(人日)

・除外:下記患者の入院日数

- 一 日帰り入院患者(同日入退院患者も含む)
- 一 入院時すでに褥瘡保有が記録されていた患者
- 一 調査期間より前に褥瘡の院内発生が確認され、継続して入院している患者

・単位:%パーセント

d0:	皮膚損傷・発赤なし
d1:	持続する発赤
d2:	真皮までの損傷
D3:	皮下組織までの損傷
D4:	皮下組織を超える損傷
D5:	関節腔、体腔に至る損傷
DU:	深さ判定が不能の場合

【考察】

2015年度QIプロジェクト結果より
平均値0.08%(前年比-0.01)
中央値0.06%(前年比±0)
最大値5.56%(前年比-2.98)
最小値0.00(前年比±0)

この指標は、入院時すでに褥瘡を保有している患者さんや調査期間より前に褥瘡の院内発生が確認され継続して入院している患者さんを除くことで、新たに院内で褥瘡が発生した割合をみるアウトカム指標です。平均値と同じでしたが、中央値よりは高く、継続して発生率を把握していきます。

救急車・ホットライン 応需率：96.62%

- ・分子

- 救急車で来院した患者数

- ・分母

- 救急車受け入れ要請人数

- ・ 包含

- ホットラインでの受け入れ要請患者数
 >>ホットライン:消防本部からの救急車専用電話

- ・ 除外

- 他院からの搬送(転送)人数
- ヘリコプターによる搬送(転送)人数

- ・単位

- %パーセント

【考察】

この指標は救急医療の機能を測る指標であり、救急車受け入れ要請のうち、何台受け入れができたのかを表しており、より高い値が望まれます。

受け入れ要請を断らざるを得なかった理由をモニター・分析することで、数値の改善に努力いたします。

厚生労働省提出データを
EVEを利用して

退院後42日以内の 再入院率：2.84% (ベンチマーク4.77%)

・対象症例

- ・前回入院、今回入院の入院中の主な診療目的が「診断・検査のみ」「教育入院」「計画された短期入院の繰り返し」「その他加療」に分けたうちの「その他加療」である。
- ・また、今回入院の契機となったMDC6桁が、前回入院の「入院の契機となった傷病名」「主傷病名」「医療資源を最も投入した傷病名」のいずれかのMDC6桁である。
- ・「白内障、水晶体の疾患」に該当するMDC6桁(020110)については含まない。

・分子

- － 退院後42日以内に再入院した患者

・分母

- － 退院患者

・単位

- － %パーセント

【考察】

退院後42日以内の同じような傷病の再入院率を把握することで、再入院に繋がる退院が無かったか確認するきっかけとなります。再入院の背景には様々あると考えられますがより低い値が望ましく、継続して値を把握していきます。

院内感染症発生率：

(a) 中心静脈注射

→敗血症2.33%(ベンチマーク5.50%)

(b) 人工呼吸 →肺炎6.52%(ベンチマーク5.18%)

(c) 膀胱留置カテーテル

→尿路感染0.64%(ベンチマーク1.03%)

・対象症例

- ・それぞれの項目(中心静脈、人工呼吸、膀胱留置カテーテル)を実施した症例
- ・かつ、以下の1, のいずれかにそれぞれの病名(敗血症、肺炎、尿路感染)が記載されている症例
- ・かつ、以下の2.のいずれかにそれぞれの病名(敗血症、肺炎、尿路感染)が記載されていない症例

- 1.医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を2番目に投入した傷病名、入院後発症疾患名
- 2.入院の契機となった傷病名、入院時併存名

・分子：

- a. 敗血症となった症例数
- b. 肺炎となった症例数
- c. 尿路感染となった症例

・分母

- a. 中心静脈注射実施症例数
- b. 人工呼吸実施症例数
- c. 膀胱留置カテーテル使用症例

・単位 — %パーセント

【考察】

人工呼吸実施症例の肺炎を発症する発症率が、ベンチマークより高い結果となりました。当院は高齢者の肺炎が一番多いため発生率が高いのかもしれませんが、より低い値が望ましく、継続して値を把握していきます。

診断群分類(DPC)コードの上6桁一覽

- 当院急性期病棟では、診断群分類に基づく1日当り定額報酬算定制度(DPC/PDPS)に基づいて入院料を計算しております。
- 診断群分類(DPC)コードは疾患毎に14桁で構成されていますが、コードの頭6桁は以下の通りです。

神経系疾患（参考：MDC 01）	
010010	脳腫瘍
010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤
010030	未破裂脳動脈瘤
010040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）
010050	非外傷性硬膜下血腫
010060	脳梗塞
010061	一過性脳虚血発作
010069	脳卒中の続発症
010070	脳血管障害
010080	脳脊髄の感染を伴う炎症
010083	結核性髄膜炎、髄膜脳炎
010086	プリオン病
010089	亜急性硬化性全脳炎
010090	多発性硬化症
010100	脱髄性疾患（その他）
010110	免疫介在性・炎症性ニューロパチー
010111	遺伝性ニューロパチー
010120	特発性（単）ニューロパチー
010130	重症筋無力症
010140	筋疾患（その他）
010155	運動ニューロン疾患等
010160	パーキンソン病
010170	基底核等の変性疾患
010180	不随意運動
010190	遺伝性運動失調症
010200	水頭症
01021x	認知症

010220	その他の変性疾患
010230	てんかん
010240	片頭痛、頭痛症候群（その他）
010250	アルコール依存症候群
010260	ウェルニッケ脳症
010280	ジストニー、筋無力症
010290	自律神経系の障害
010300	睡眠障害
010310	脳の障害（その他）

眼科系疾患（参考：MDC 02）	
02001x	角膜・眼及び付属器の悪性腫瘍
020040	網膜芽細胞腫
02006x	眼の良性腫瘍
020080	眼窩腫瘍
020110	白内障、水晶体の疾患
020120	急性前部ぶどう膜炎
020130	原田病
020150	斜視（外傷性・癒着性を除く）
020160	網膜剥離
020180	糖尿病性増殖性網膜症
020190	未熟児網膜症
020200	黄斑、後極変性
020210	網膜血管閉塞症
020220	緑内障
020230	眼瞼下垂
020240	硝子体疾患
020250	結膜の障害
020280	角膜の障害

020290	涙器の疾患
020320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患
020325	甲状腺機能異常性眼球突出（症）
020340	虹彩毛様体炎、虹彩・毛様体の障害
020350	脈絡膜の疾患
020360	眼球の障害
020370	視神経の疾患
020380	眼球運動障害
020390	視覚・視野障害
020400	眼、付属器の障害

耳鼻科系疾患（参考：MDC 03）	
03001x	頭頸部悪性腫瘍
030150	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍
030180	口内炎、口腔疾患
030190	唾液腺炎、唾液腺腫瘍
030200	腺内唾石
030220	ガマ腫
030230	扁桃、アデノイドの慢性疾患
030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭 喉頭炎
030245	伝染性単核球症
030250	睡眠時無呼吸
030270	上気道炎
030280	声帯ポリープ、結節
030290	声帯麻痺
030300	声帯の疾患（その他）
030320	鼻中隔彎曲症
030330	急性副鼻腔炎
030340	血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎 （鼻アレルギー）
030350	慢性副鼻腔炎
030360	副鼻腔嚢胞、鼻前庭嚢胞
030370	鼻ポリープ
030380	鼻出血
030390	顔面神経障害
030400	前庭機能障害
030410	めまい（末梢前庭以外）
030425	聴覚の障害（その他）

030428	突発性難聴
030430	滲出性中耳炎、耳管炎、耳管閉塞
030440	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫
030450	外耳の障害（その他）
030460	中耳・乳様突起の障害
030470	内耳の障害（その他）
030475	耳硬化症
030500	唾液腺の疾患（その他）

呼吸器系疾患（参考：MDC 04）	
040010	縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍
040020	縦隔の良性腫瘍
040030	呼吸器系の良性腫瘍
040040	肺の悪性腫瘍
040050	胸壁腫瘍、胸膜腫瘍
040070	インフルエンザ、ウイルス性肺炎
040080	肺炎等
040081	誤嚥性肺炎
040090	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気 道感染症（その他）
040100	喘息
040110	間質性肺炎
040120	慢性閉塞性肺疾患
040130	呼吸不全（その他）
040140	気道出血（その他）
040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成
040151	呼吸器のアスペルギルス症
040170	抗酸菌関連疾患（肺結核以外）
040180	気管支狭窄など気管通過障害
040190	胸水、胸膜の疾患（その他）
040200	気胸
040210	気管支拡張症
040220	横隔膜腫瘍・横隔膜疾患（新生児を含 む）
040230	血胸、血気胸、乳び胸
040240	肺循環疾患
040250	急性呼吸窮<促>迫症候群
04026x	肺高血圧性疾患
040310	その他の呼吸器の障害

循環器系疾患（参考：MDC 05）	
050010	心臓の悪性腫瘍
050020	心臓の良性腫瘍
050030	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む）、再発性心筋梗塞
050050	狭心症、慢性虚血性心疾患
050060	心筋症（拡張型心筋症を含む）
050070	頻脈性不整脈
050080	弁膜症（連合弁膜症を含む）
050090	心内膜炎
050100	心筋炎
050110	急性心膜炎
050120	収縮性心膜炎
050130	心不全
050140	高血圧性疾患
050161	解離性大動脈瘤
050162	破裂性大動脈瘤
050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤
050170	閉塞性動脈疾患
050180	静脈・リンパ管疾患
050190	肺塞栓症
050200	循環器疾患（その他）
050210	徐脈性不整脈
050340	その他の循環器の障害

消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患（参考：MDC 06）	
060010	食道の悪性腫瘍（頸部を含む）
060020	胃の悪性腫瘍
060030	小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍
060035	結腸（虫垂を含む）の悪性腫瘍
060040	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍
060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む）
060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍
06007x	膵臓、脾臓の腫瘍
060080	食道の良性腫瘍
060090	胃の良性腫瘍

060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む）
060102	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患
060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）
060140	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）
060141	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴うもの）
060150	虫垂炎
060160	鼠径ヘルニア
060170	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア
060180	クローン病等
060185	潰瘍性大腸炎
060190	虚血性腸炎
060200	腸重積
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞
060220	直腸脱、肛門脱
060230	肛門周囲膿瘍
060235	痔瘻
060240	外痔核
060245	内痔核
060250	尖圭コンジローム
060260	肛門狭窄、肛門裂溝
060270	劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎
060280	アルコール性肝障害
060290	慢性肝炎（慢性C型肝炎を除く）
060295	慢性C型肝炎
060300	肝硬変（胆汁性肝硬変を含む）
060310	肝膿瘍（細菌性・寄生虫性疾患を含む）
060320	肝嚢胞
060330	胆嚢疾患（胆嚢結石など）
060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎
060350	急性膵炎
060360	慢性膵炎（膵嚢胞を含む）
060370	腹膜炎、腹腔内膿瘍（女性器臓器を除く）

060565	顎変形症
060570	その他の消化管の障害

筋骨格系疾患（参考：MDC 07）	
070010	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く）
070020	神経の良性腫瘍
070030	脊椎・脊髄腫瘍
070040	骨の悪性腫瘍（脊椎を除く）
070041	軟部の悪性腫瘍（脊髄を除く）
070050	肩関節炎、肩の障害（その他）
070060	手肘の関節炎
070070	骨髄炎（上肢）
070071	骨髄炎（上肢以外）
070080	滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢）
070085	滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢以外）
070090	筋炎（感染性を含む）
07010x	化膿性関節炎（下肢）
070150	上肢神経障害（胸郭出口症候群を含む）
070160	上肢末梢神経麻痺
070170	下肢神経疾患
070180	脊椎変形
070190	上肢・手の変形（偽関節を除く）
070200	手関節症（変形性を含む）
070210	下肢の変形
070230	膝関節症（変形性を含む）
070240	動揺関節症
070250	関節内障、関節内遊離体
070270	膝蓋骨の障害
070280	骨端症、骨軟骨障害・骨壊死、発育期の膝関節障害
070290	上肢関節拘縮・強直
070310	下肢関節拘縮・強直
070330	脊椎感染（感染を含む）
07034x	脊柱管狭窄（脊椎症を含む）
070341	脊柱管狭窄（脊椎症を含む） 頸部

070343	脊柱管狭窄（脊椎症を含む） 腰部骨盤、不安定椎
070350	椎間板変性、ヘルニア
070370	脊椎骨粗鬆症
070380	ガングリオン
070390	線維芽細胞性障害
070395	壊死性筋膜炎
07040x	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む）
070430	神経異栄養症、骨成長障害、骨障害
070440	色素性絨毛結節性滑膜炎
070460	股関節ペルテス病
070470	関節リウマチ
070510	痛風、関節の障害（その他）
070520	リンパ節、リンパ管の疾患
070560	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患
070570	癩痕拘縮
070580	斜頸
070590	血管腫、リンパ管腫
070600	骨折変形癒合、癒合不全などによる変形（上肢以外）
070610	骨折変形癒合、癒合不全などによる変形（上肢）
071030	その他の筋骨格系・結合組織の疾患

皮膚・皮下組織の疾患（参考：MDC 08）	
080005	黒色腫
080006	皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外） なし
080007	皮膚の良性新生物
080011	急性膿皮症
080020	帯状疱疹
080030	疱疹（帯状疱疹を除く）、その類症
080040	ウイルス性急性発疹症
080050	湿疹、皮膚炎群
080070	慢性膿皮症
080080	痒疹、蕁麻疹
080090	紅斑症
080100	葉疹、中毒疹

080105	重症薬疹
080110	水疱症
080130	角化症、角皮症
080140	炎症性角化症
080150	爪の疾患
080180	母斑、母斑症
080190	脱毛症
080210	さ瘡、皮膚の障害（その他）
080220	エクリン汗腺の障害、アポクリン汗腺の障害
080230	皮膚色素異常症
082045	放射線皮膚障害
080250	褥瘡潰瘍
080260	その他の皮膚の疾患
080270	食物アレルギー

乳房の疾患（参考：MDC 09）

090010	乳房の悪性腫瘍
090020	乳房の良性腫瘍
090030	乳房の炎症性障害
090040	乳房の形態異常、女性化乳房、乳腺症など

内分泌・栄養・代謝に関する疾患（参考：MDC 10）

100020	甲状腺の悪性腫瘍
100030	内分泌腺および関連組織の腫瘍
100040	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡
100050	低血糖症（糖尿病治療に伴う場合）
100060	1型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全なし）
100061	1型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全あり）
100070	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全なし）
100071	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全あり）
100080	その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全なし）

100081	その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全あり）
100100	糖尿病足病変
100120	肥満症
100130	甲状腺の良性結節
100140	甲状腺機能亢進症
100150	慢性甲状腺炎
100160	甲状腺機能低下症
100170	急性甲状腺炎
100180	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍
100190	褐色細胞腫、パラガングリオーマ
100202	その他の副腎皮質機能低下症
100210	低血糖症
100220	原発性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺腫瘍
100230	続発性副甲状腺機能亢進症
100240	副甲状腺機能低下症
100250	下垂体機能低下症
100260	下垂体機能亢進症
100270	間脳下垂体疾患（その他）
100280	尿崩症
100285	ADH 分泌異常症
100290	グルコース調節・膵内分泌障害、その他の内分泌疾患
100310	腎血管性高血圧症
100320	内分泌性高血圧症（その他）
100330	栄養障害（その他）
100335	代謝障害（その他）
100360	小人症
100370	アミロイドーシス
100380	体液量減少症
100391	低カリウム血症
100392	カルシウム代謝障害
100393	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害

腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患

（参考：MDC 11）

11001x	腎腫瘍
11002x	性器の悪性腫瘍
11004x	尿道・性器の良性腫瘍
110050	後腹膜疾患
110060	腎盂・尿管の悪性腫瘍
110070	膀胱腫瘍
110080	前立腺の悪性腫瘍
110100	精巣腫瘍
11012x	上部尿路疾患
11013x	下部尿路疾患
110200	前立腺肥大症等
11022x	男性生殖器疾患
110260	ネフローゼ症候群
110270	急速進行性腎炎症候群
110275	急性腎炎症候群
110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全
110290	急性腎不全
110310	腎臓または尿路の感染症
110320	腎、泌尿器の疾患（その他）
110420	水腎症（その他）
110430	腎動脈塞栓症

女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩（参考：MDC 12）	
120010	卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍
12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍
120030	外陰の悪性腫瘍
120040	膣の悪性腫瘍
120050	絨毛性疾患
120060	子宮の良性腫瘍
120070	卵巣の良性腫瘍
120080	女性生殖器の良性腫瘍（その他）
120090	生殖器脱出症
120100	子宮内膜症
120110	子宮・子宮付属器の炎症性疾患
120120	卵巣・卵管・広間膜の非炎症性疾患
120130	異所性妊娠（子宮外妊娠）
120140	流産

120150	妊娠早期の出血
120160	妊娠高血圧症候群関連疾患
120165	妊娠合併症等
120170	早産、切迫早産
120180	胎児及び胎児付属物の異常
120182	前置胎盤および低置胎盤
120185	（常位）胎盤早期剥離
120190	女性生殖系の炎症性疾患（その他）
120200	妊娠中の糖尿病
120210	女性性器を含む瘻
120220	女性性器のポリープ
120230	子宮の非炎症性障害
120240	膣及び外陰の非炎症性障害
120250	生殖・月経周期に関連する病態
120260	分娩の異常
120270	産褥期を中心とするその他の疾患
120290	産科播種性血管内凝固症
120300	人工授精に関する合併症

血液・造血器・免疫臓器の疾患（参考：MDC 13）	
130010	急性白血病
130020	ホジキン病
130030	非ホジキンリンパ腫
130040	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物
130050	慢性白血病、骨髄増殖性疾患
130060	骨髄異形成症候群
130070	白血球疾患（その他）
130080	再生不良性貧血
130090	貧血（その他）
130100	播種性血管内凝固症候群
130110	出血性疾患（その他）
130111	アレルギー性紫斑病
130120	血液疾患（その他）
130130	凝固異常（その他）
130140	造血器疾患（その他）
130150	発性免疫不全症候群
130160	後天性免疫不全症候群
130170	血友病

新生児疾患、先天性奇形（参考：MDC 14）	
140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害
140070	頭蓋、顔面骨の先天異常
140080	脳、脊髄の先天異常
140090	先天性鼻涙管閉塞
140100	眼の先天異常
140110	鼻の先天異常
140140	口蓋・口唇先天性疾患
140170	正中頸嚢胞・側頸嚢胞
140190	小耳症・耳介異常・外耳道閉鎖
140210	先天性耳瘻孔、副耳
140220	耳の疾患（その他）
140230	喉頭の疾患（その他）
140245	舌・口腔・咽頭の先天異常
140260	胸郭の変形および先天異常
140270	肺の先天性異常
140280	気道の先天異常
14029x	動脈管開存症、心房中隔欠損症
14031x	先天性心疾患（動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く）
140390	食道の先天異常
140410	先天性肥厚性幽門狭窄症
140430	腸管の先天異常
14044x	直腸肛門奇形、ヒルシュスプルング病
140450	胆道の先天異常（拡張症）
140460	胆道の先天異常（閉鎖症）
140480	先天性腹壁異常
140490	手足先天性疾患
140500	骨軟骨先天性形成異常
140510	股関節先天性疾患、大腿骨先天性疾患
140550	先天性嚢胞性腎疾患
14056x	先天性水腎症、先天性上部尿路疾患
140580	先天性下部尿路疾患
140590	停留精巣
140600	女性性器の先天性異常
140620	その他の先天異常

小児疾患（参考：MDC 15）

150010	ウイルス性腸炎
150020	細菌性腸炎
150021	偽膜性腸炎
150040	熱性けいれん
150070	川崎病
150100	虐待症候群
150110	染色体異常（ターナー症候群及びクラインフェルター症候群を除く）
150120	脳性麻痺

外傷・熱傷・中毒（参考：MDC 16）

160100	頭蓋・頭蓋内損傷
160200	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む）
160250	眼損傷
160300	喉頭・頸部気管損傷
160350	頸部損傷（喉頭・頸部気管損傷、頸椎頸髄損傷を除く）
160400	胸郭・横隔膜損傷
160440	外耳・中耳損傷（異物を含む）
160450	肺・胸部気管・気管支損傷
160480	心・大血管損傷
160500	食道・胃損傷
160510	肝・胆道・膵・脾損傷
16054x	腸管損傷（胃以外）
160570	腹部血管損傷
160575	その他腹腔内臓器の損傷
160580	腹壁損傷
160590	四肢神経損傷
160600	四肢血管損傷
160610	四肢筋腱損傷
160620	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む）
160640	外傷性切断
160650	コンパートメント症候群
160660	皮下軟部損傷・挫滅損傷、開放創
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む）
160700	鎖骨骨折、肩甲骨骨折
160720	肩関節周辺骨折脱臼

160730	肩関節周辺開放骨折
160740	肘関節周辺の骨折・脱臼
160750	肘関節周辺開放骨折
160760	前腕の骨折
160770	前腕開放骨折
160780	手関節周辺骨折脱臼
160790	手関節周辺開放骨折
160800	股関節大腿近位骨折
160810	股関節大腿近位開放骨折
160820	膝関節周辺骨折・脱臼
160830	膝関節周辺開放骨折
160835	下腿足関節周辺骨折
160840	下腿足関節周辺開放骨折
160850	足関節・足部の骨折、脱臼
160860	足関節・足部の骨折、脱臼、開放骨折
160870	頸椎頸髄損傷
160950	腎・尿管損傷
160960	膀胱・尿道損傷
160970	生殖器損傷
160980	骨盤損傷

160990	多部位外傷
160995	気道熱傷
161000	熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷
161020	体温異常
161040	損傷の続発性、後遺症
161060	詳細不明の損傷等
161070	薬物中毒（その他の中毒）

精神疾患（参考：MDC 17）	
170020	精神作用物質使用による精神および行動の障害
170040	気分〔感情〕障害

その他（参考：MDC 18）	
180010	敗血症
180020	性感染症
180035	その他の真菌感染症
180040	手術・処置等の合併症
180050	その他の悪性腫瘍
180060	その他の新生物